



子ども霞が関木工教室

今年も 子ども霞が関見学デーが 開催されました

平成12年度から実施されている「子ども霞が関見学デー」。今年度も8月7～8日に開催され、農林水産省には親子連れを中心として約4,800名が訪れました。このうち、林野庁のコーナー「子ども霞が関木工教室」には約900名の子供たちが参加し、活気あふれる、賑やかな2日間となりました。

「子ども霞が関見学デー」は、農林水産省をはじめ各府省庁が連携して、各府省庁の仕事の説明や職場見学、それぞれの特色を活かした様々なプログラムの体験を通じて、夏休みに親子のふれあいを深め、子供たちが広く社会を知るための取組です。

林野庁の子ども霞が関木工教室では、キーホルダー作りやマイはし作りが行われました。ミズキやシラカバなどの枝を輪切りにしたプレートの中から、好きな色や形のものを選んで子供たちが、思い思いの絵を描き、オリジナルのキーホルダーを仕上げたり、マイはし作りでは使い慣れないカンナで

ヒノキの木片を削って箸を完成させていました。

また、会場内のステージでは、農林水産省から「みどりの大使」に任命されている「葉っぱのフレディ」の出演者の皆さんによるミニライブが行われました。ミニライブでは歌の披露のほか、「みどりのアピール宣言」が行われ、来場者に森林や木を使うことの大切さを呼びかけていました。

参加した子供たちは、満足した表情を浮かべるとともに、自分で作った木工作品を大切そうに持ち帰り、2日間の子ども霞が関見学デーは盛況のうちに終わりました。



マイ
はし作り



完成したマイはし



完成したキーホルダー



キーホルダー
作り



キーホルダー用のプレート

キーホルダーに
思い思いの絵を描く



完成したキーホルダー



「葉っぱのフレディ」の出演者の皆さんによるミニライブ